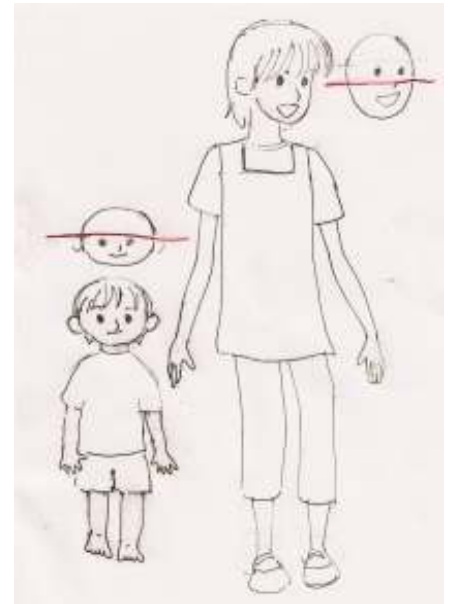


## 人物の描き方

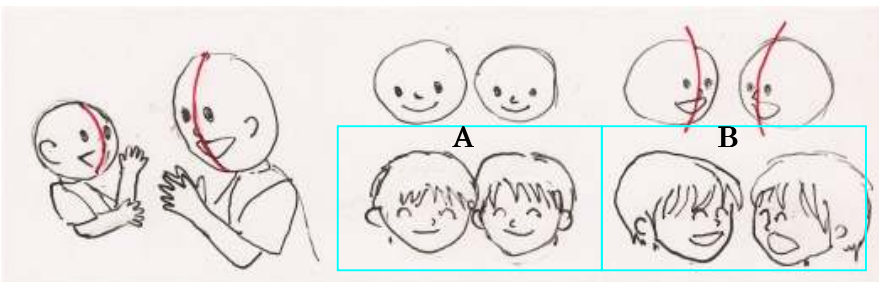
**ポイント1** 保育士（大人）と園児（幼児）をはっきり描き分ける

	幼児	大人
頭身	4～5頭身	6頭身位～6.5頭身位
顔	丸（目鼻口顔の半分より下に）	面長（目鼻口は広範囲に）
首	太くて短い	細くて長い
手首足首	くびれていない	はっきりくびれている
手	ふっくらしていて小さい（もみじ）	指が長い
口鼻	小さい	大きい
肩幅	狭い（なで肩の方が表現しやすい）	子供より広く、女性は頭の2～2.5倍位
耳	顔に対して大きい	顔全体の中では目立たない大きさ



実際にはとっちゃん坊やと言われる大人や、老け顔の子供も多いけれど、描く場合は上のような特徴を極端に表現すると描き分けが簡単にできます。

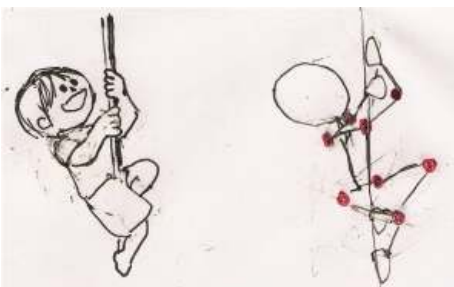
**ポイント2** 顔の向き（目鼻口の向き）を意識して描く



向きを意識すると、人物の関係（係わり）が表現し易くなります。赤い線（正中線）を引くと簡単に向きを意識した顔が描けます。

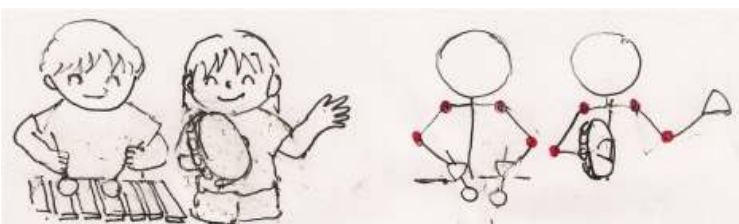
AとBどちらの方が自然な様子が表現されているでしょうか？

**ポイント3** 体の動きを表現する



手の指、腕、足を描く時は動きを意識して描くようにしましょう。

日ごろから、手腕足の向きや動きを意識して絵画に生かしましょう。左のような輪郭線を描くと、体全体の動きが自然に表現できます。色々な場面を練習してみてください。



## 背景の描き方

**ポイント1** 保育所ならではのものを1つは入れる

おもちゃ（積木、人形、車等）、ロッカー、絵本、子供の絵等

**ポイント2** 人物より控えめに描く

人物より広範囲にならないようにしましょう。

**ポイント3** 水平を保つ

**ポイント4** 下の方は大きく、上方は小さく描く

## 構図を意識して描く

全体的なバランスを考慮する

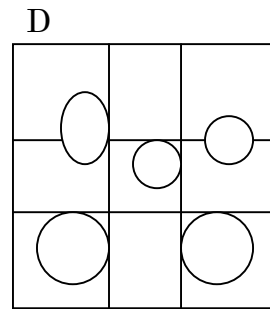
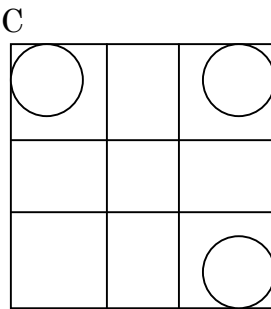
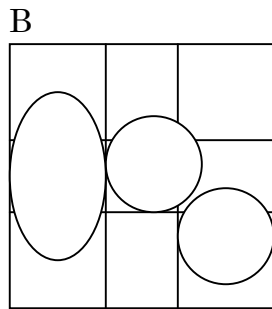
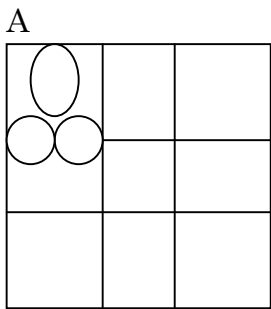
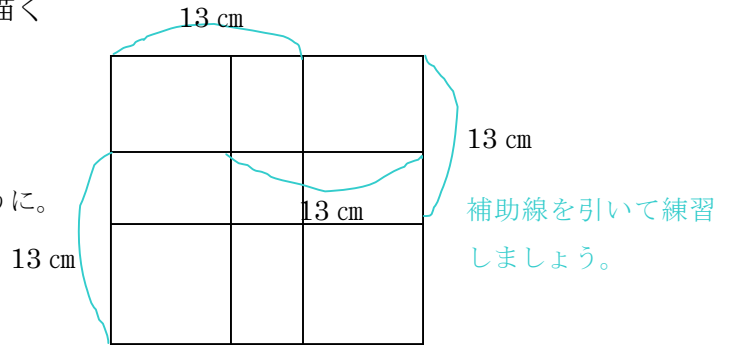
人物が偏った場所に集中したり、逆に離れすぎないように。

人物が大きすぎたり、小さすぎたりしないように。

背景を描く範囲を意識して人物を配置する

物も人物もない部分が極端に多くならないようにする。

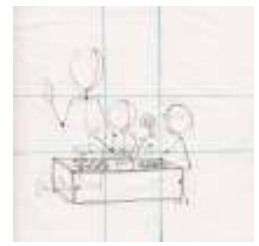
Dのように偏りなく配置。



先に小さな正方形に設計図を描きこれを見ながら下絵を描くと間違いが少なくなる。

まず補助線を引く。上下左右、半分と  $3/2$  の間位の所に線を引く感じ。大人の頭は長丸、子供は○で描くと分かり易い。人物とテーマに必要なモチーフのみで構わない。

## 下絵



## 画用紙

